

五台山遍路道(2012年4月8日)

右城 猛

最近、飲み会の機会が多くなっている。今年に入ってから早朝ジョギングもあまりしていない。当然の結果であるが、血糖値を示す HbA1c の値が高くなっており、掛かり付けの医者から以前のような健康的な生活に戻すように注意を受けていた。

年度末の忙しさから解放された最初の日曜日で、しかも天気にも恵まれたので、徒歩で遍路道を通して五台山に登ることにした。



自宅を 11 時に出発。高須大島から松村神社の階段を上る。



神社の手前を右手に折れる小道があり、道の脇の木の枝に、「遍路道」と書かれた表札が掛けられていた。

この遍路道を登っていくと、桜が満開の墓地に出た。墓石は「松村」の姓が多い。「松村神社」は、松村一族の先祖を祀った氏神様なのである。



墓地に植えられた桜が満開。



遍路道の脇の木の枝には、「遍路道」を示すいろいろな種類の表札が吊されている。



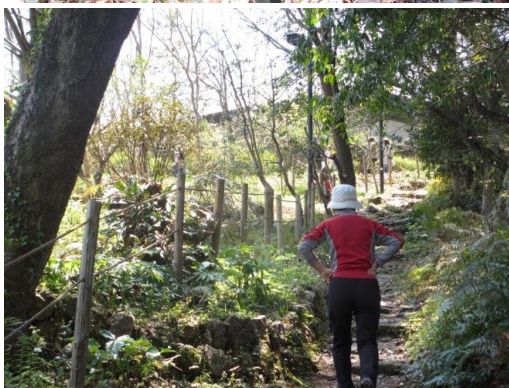
遍路道の位置を示す標識



ヤエベニシダレ。しだれ桜よりも花色が濃く、重弁化しているという特徴があるようである。



芝生広場の花皿鉢。3月26日に訪れた時とは花の種類がすっかり変わっていた。



遍路道を上っていくと、牧野植物園の北園にある芝生広場に出た。

「遍路の方のみ通り抜けます」という標識があった。遍路道は牧野植物園の中を通っているのである。遍路道は牧野富太郎記念館の展示館の脇を通り、本館と展示館を結ぶ回廊を横切り、南園の50周年記念庭園の中を横断している。



牧野富太郎の像がある50周年記念庭園



50周年記念庭園の花皿鉢



50周年記念庭園の中を歩いている遍路道



土佐尾長鶏の花皿鉢



四国霊場 31 番札所になっている五台山竹林寺客殿のヤエベニシダレ



庭園の池に浮かべられた発泡スチロール製の花皿鉢と花クジラの親子



五台山展望台から眺めた鏡川と高知市街。



池の前で家内と。一人で来られていた若い女性客にシャッターをおしてもらった。



五台山展望台から眺めた国分川と高知市街。



展望台のある五台山公園から遍路道を吸江(ギユウコウ)に降りていくと、伊達兵部宗勝の墓があった。伊達兵部宗勝は伊達正宗の実子である。

一の関三万石の城主・三代藩主綱宗の実子亀千代の後見人となり藩政を補佐していたが、側近の原田甲斐が刃傷沙汰を起こしたので、その責任を負って1671年に山内家預けとなり、1679年58歳で病死したという説明書きがあった。



絶海池(たるみいけ)に夫婦が乗った小舟が浮かんでいた。よく見れば夫婦は人形。



絶海池(たるみいけ)に架けられた大谷橋。株式会社高知丸高のSqCピア工法で施工されている。

対岸の護岸には、ガードレール基礎「プレガード」が施工されていた。

(2012年4月10記)